



学びっこ通信

発行：栄小学校学力向上チーム

令和4年10月31日



家庭学習,取り組んでいますか？

1学期に取り組んだ「生活リズムチェックシート」では、アンケートの結果から、学年ごとの成長を以下のようにまとめました。

1年生で〈きっかけ〉をつかみ〈自主的な気持ち〉が芽生え、**2年生**で〈家族での話し合い〉を通して生活リズムを整えていき〈いつも同じ時間に〉学習や睡眠をとれるようになり、**3年生**になって〈習慣化〉し〈自己管理〉への道筋ができる。

そして、**4年生**になると〈計画的に自己管理〉ができるようになりはじめ、**5年生**〈自主・自律的な学習〉が身に付き、学習内容にも広がりが出てくる。**6年生**になると〈自主・自律的な学習〉の充実について考えるようになる。それが**中学生**で求められる『自律的な学習者』への道筋となる。

11月に、今年度2回目の『生活リズムチェックシート』週間があります。1学期の取組から、その後、家庭学習の取組はどうでしょうか？11月の『生活リズムチェックシート』に取り組むにあたり、改めて家庭学習の大切さをお伝えしたいと思います。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年
目標時間	20分	30分	40分	50分	60分	70分
平均学習時間(分)	23.8分	37.0分	38.9分	47.2分	57.2分	61.0分

7月実施のときの学年ごとの平均学習時間です。（上段は各学年の目標時間です。**目標時間は学年×10分+10分**で設定）。1, 2年生は平均学習時間を達成。3～5年生は、あとちょっと。6年生は、中学校に向けてもうひと頑張りが必要です。これは、あくまで【学年の平均】です。個別によくみると、**学習時間差の個人差が大きい様子**がありました。一人一人が意識して自分から学べるように家庭での環境を整えてほしいと思います。

家庭学習は『**予習的内容**』『**復習的内容**』『**発展的・自主的内容**』とバランスよく計画的に学べるようになるとよいと思います。さらに、**家庭学習ノートを使って学習を続けていく**と、学習自体はもちろん、それ以外にもたくさんのよいことがあると言われています。

例えば・・・



勉強グセを習慣づける

各自のスタイルに合わせて、たとえ短時間であっても毎日一定の時間、一定の分量をこなすことは、習慣づけのトレーニングになります。



基礎力のアップ

計算問題、漢字練習などをくり返すことで、粘り強い姿勢と、学力の基礎づくりに役立ちます。

これら2つは、よく
言われていますね

次の2つは、「**これからの時代で必要とされる力**」新しい学力です。



創造性と自主性がアップ

何をやるか自分で決めて取り組むことのくり返しによって、自分の考えで行動する力が身につきます。



プレゼンテーション能力が磨かれる

他者(担任や親など)に見せることを前提にしたノートは、見やすさ、わかりやすさを心がけ、一歩進んだ資料の活用、表現方法を工夫するなどのトレーニングになります。

今の子ども達が大人になる頃には、さらに情報化、グローバル化が進み、AIの進化など、次々と新しいものが生まれ、しくみが変わり、**私たちは、大人になっても、一生を通じて新しい知識とスキルを学び続けなければならない時代**になると言われています。知識やスキルそのものも必要ですが、いかのして学ぶか、その**「学び方」そのものの習得**が求められているのです。だからこそ、家庭学習ノートを通じて培われる**上記の2つの力**は、小学生のうちからつけていきたい力です。

では、どんな家庭学習に取り組んだらいいでしょうか？栄小学校のお友達の取組から見ていきましょう。きっと参考になりますよ。次号から、みんなの家庭学習の紹介をしていきたいと思います。